



日進北小だより

令和6年11月1日 11月号 第7号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884



<https://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標：心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～宇宙一 すてきなあいさつ 日北っ子～

児童の学校生活の様子を、
随時更新し掲載しています。
どうぞ、ご覧ください。

自分一の運動会 ～「自分一」が生み出した一体感～

校長 寺越 崇征

10月26日(土)に「必笑! 目指せ自分一の運動会」のスローガンを掲げて運動会を開催しました。おかげさまで気持ちのよい秋晴れの下、多くの保護者の皆様、地域の皆様、来賓の皆様をお迎えし、盛大に実施することができました。実施にあたり、準備面および運営面において、PTA役員の皆様やおやじかい!の皆様にも多大なるご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

どの学年も約一か月間、表現運動(リズムダンス、民謡、集団行動など)を中心に練習に取り組んできました。その成果もあって当日の演技もそれぞれの学年のカラーを存分に感じられるものでした。児童会が考えた「自分一の運動会」というスローガンは、一人ひとりの子どもたちが自分なりの目標をもって取り組むのに分かりやすい、いいスローガンでした。個々の目標に向けて日々の練習に繰り返し取り組んできたことが、結果として学年全体の一体感を生み、表現力を向上させたと言えるでしょう。どの学年の子たちも、成長した姿を惜しみなく発揮してくれました。



今年もおやじかい!の皆様にご協力いただき、設置していただきました。



応援団、かっこよかった!

また、運動会を大いに盛り上げてくれた応援団の存在も大きかったです。「自分一」の目標の下で自ら立候補して入団し、団長を中心に毎日の練習を積み上げてきました。日を追うごとに声が出るようになり、堂々とした立ち居振る舞いができるようになっていきました。赤白両応援団ともに、勝敗を超えて最後まで力を出しきり、素敵な笑顔が見られました。

ほかにも、5・6年生児童全員が、放送や審判や得点、児童係といった役割をもって、運動会の事前の準備から当日の運営に力を発揮しました。昨年以前の先輩方の姿を見て育った今の高学年の姿を、今度は下級生たちがしっかりと見ていました。毎年繰り返される、新しい世代の成長を見ることができるのも、運動会の楽しみのひとつです。

コロナ禍以降、多くの小学校で、運動会は規模を縮小して実施することが主流となりました。猛暑日の増加に伴って練習時間の確保が困難になったことや、子どもの体に過度な負担がかかったことによる怪我や事故が多発したこともこの流れに拍車をかけました。以前に比べて、種目が減って盛り上がり欠ける、午前開催になって寂しいという声も聞かれます。しかし、小学校の運動会の大きなねらいは「運動に親しむ態度の育成」、「責任感や連帯感の涵養^(注)」そして「体力の向上」です。今年の運動会での子どもたちの姿を見ると、めあては十分に達成できたのではないかと考えます。大人の感覚だけで物足りないとか縮小したとかと考えるのではなく、子どもたちに合った内容で、それぞれの子が自分なりの目標をもって成長できる運動会を、来年度以降も実施していきたいと考えております。

^(注) 涵養(かんよう)…自然にしみこむように、無理のないようだんだんに養成すること。

日北っ子のみんな、一人ひとりの「自分一」をみせてくれて、ありがとう!